

経営比較分析表（令和元年度決算）

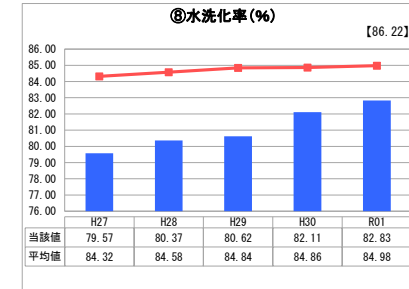
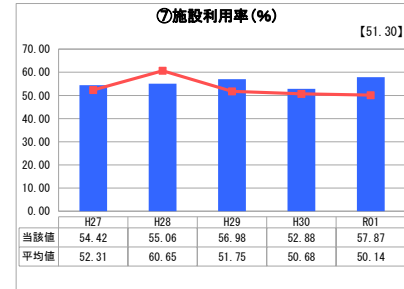
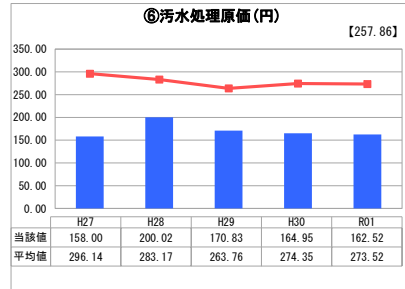
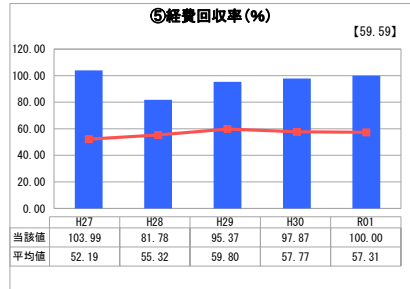
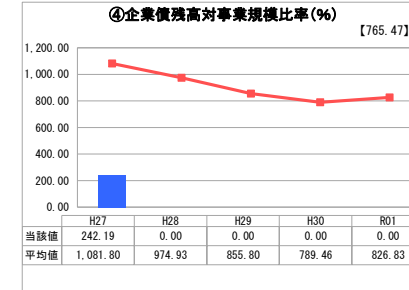
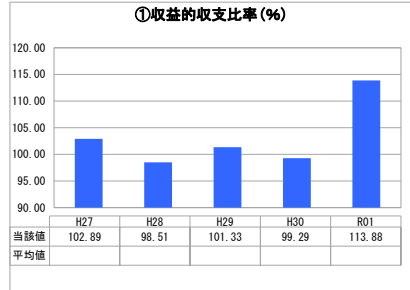
栃木県 矢板市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	2.88	68.63	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,051	170.46	188.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
920	0.68	1,352.94

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、ほぼ横ばいであったが令和元年度においては増加となった。これは公営企業法適用による打ち切り決算を行ったため、一時的に数値が改善したものである。今後は地方債償還が減少するので、当比率は改善するものと見込まれるが、突発的な修繕等が発生すると収支に影響されてしまうので、計画的な修繕が必要である。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値と比較すると低いものとなっているが、これは整備事業が完了しており初期投資・企業債が新たに発生しないためである。

⑤経費回収率は、ほぼ横ばいであるが、今後とも更なる経費の削減等を図り経営を改善していきたい。

⑥汚水処理原価は、類似団体平均値と比較すると低いものとなっている。しかし、接続率はまだ高いと言えず、今後老朽化による維持管理費の増大が見込まれることから、水洗化率の向上が必要である。

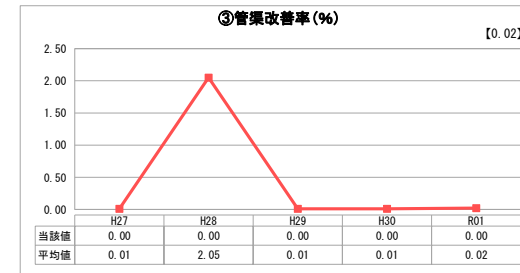
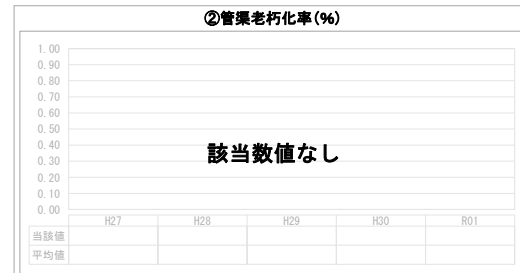
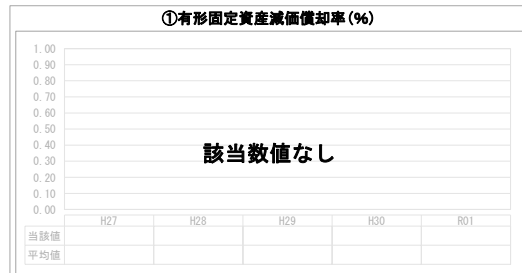
⑦施設利用率は、微増しているが、今後も人口減少が見込まれる中、施設の適正な規模を検討していきたい。

⑧水洗化率は、類似団体平均値と比較して低いものとなっているが、微かに増加してきている。今後も水洗化率の向上のため、普及啓発活動を推進していく。

2. 老朽化の状況について

比較的新しい施設であるため、管渠の更新はまだ必要ないが、水処理センターの不具合はだんだん増えてきている。施設調査等を実施し、更新計画を立て計画的に対応していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営はわずかながら改善してきていると思うが、人口減少による使用料収入の減少や、施設の老朽化による費用負担の増加が今後の課題と考える。令和2年度からは、公営企業法適用により柔軟な経営が行えるようになったが、経営戦略の見直し等を行い、更なる経費の削減、接続者の増加、使用料の改定等により財源の確保に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。